

# MIRATEC Monthly Report 2014 July Vol.5

MIRATEC Monthly Report 2014 July Vol.5

**MIRATEC Co.,Ltd.**  
www.cmyk.co.jp

OSAKA:  
〒534-0025 大阪市都島区片町 2-9-9  
TEL:06-6354-3081  
FAX:06-6354-2985

TOKYO:  
〒189-0013 東京都東村山市栄町 2-28-5-2F  
プリントリード内  
TEL:042-392-7382  
FAX:043-390-2553  
■info@cmyk.co.jp

## ★今月のおすすめ★

## とってもエコな夏のノベルティ PRうちわ・PRせんすの活用例

弊社オリジナルの「PRうちわ・PRせんす」は紙一枚でうちわやせんすとしての役割を果たし、通常の倍の広告スペースで様々なPRを展開できるユニークな商品です。

この商品をみなさまのお仕事に合わせた様々なアイデアで展開することにより、お客様に大変喜んで頂き、また、広告効果も大きく発揮できます。



PRせんす

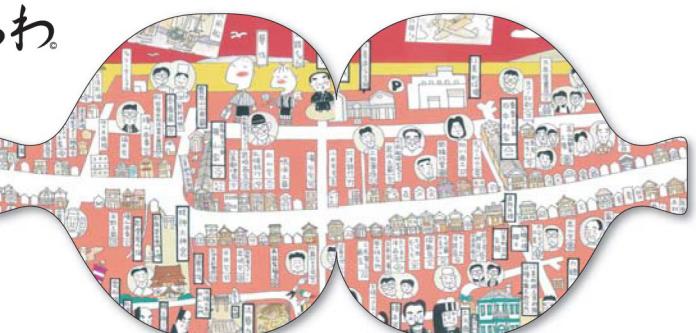


### ●メニュー

ご来店頂いたお客様にメニューをお渡しすることは、おいしかった味、楽しかった時を思い出して頂き、次回のご来店を促す効果があります。

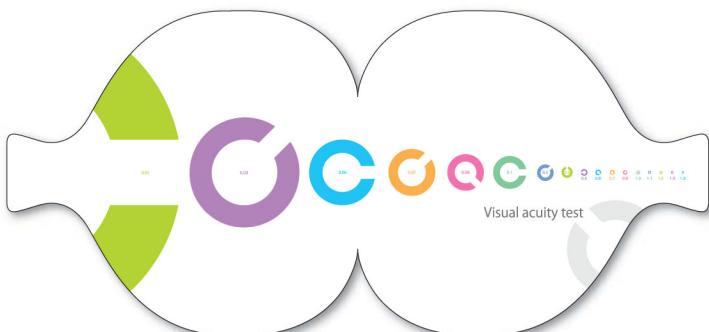


PRうちわ



### ●時刻表

最寄駅の時刻表があると、お客様がパーティなどの計画を立てやすくなり、幹事様のお役にたち、ご予約を頂くチャンスが拡大します。

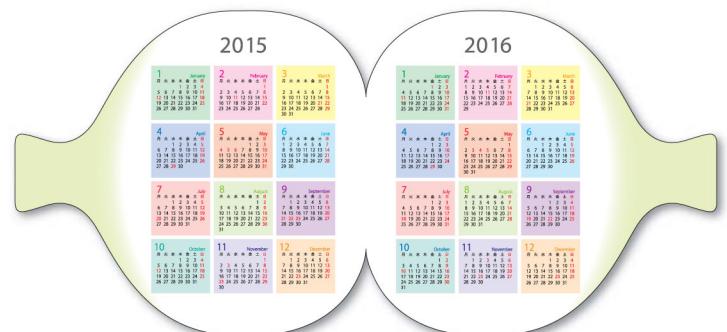


### ●視力検査

この様なコンテンツもカラフルにデザインを施することで、お客様に大変喜ばれるのではないかでしょうか。美しく、ユニークなデザインも販促効果を発揮するツールとなります。

### ●マップ

商店街マップ、ウォーキングマップ、観光マップ、イベントマップなど、利用価値の高いコンテンツは繰り返しお使いいただけます。



### ●カレンダー

定番ですが不变の機能性と言えます。

# PANTONE® インキ

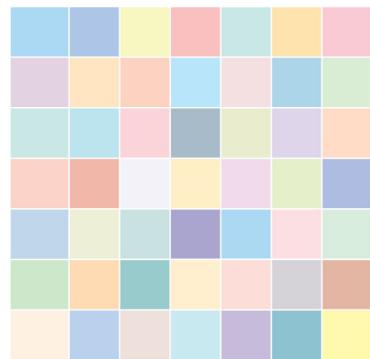
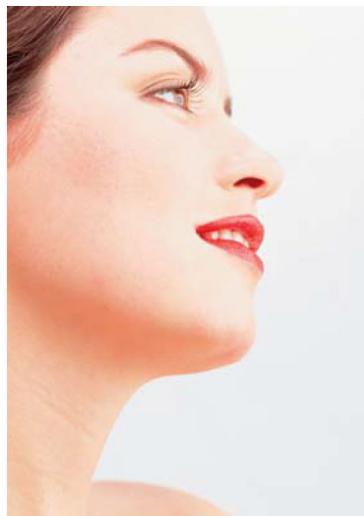
弊社では PANTONE® カラーの印刷（現在はプロセスカラーの4色：C シアン・M マゼンタ・Y イエロー・K ブラックに対応）を承っております。

PANTONE® とはインキのみならず、プラスチックをはじめとする工業製品など、あらゆる素材に対する色彩の基準であり、独特の風合いがあることからデザイナーの皆様や色彩をコンセプトにした企画商品などに「PANTONE®」を一つのブランドとして応用するケースもあるようです。

通常インキの色彩との違いは、例えば、「にごり」が出やすい中間色（淡いピンク、ライトグリーン、ベージュなど）、女性の肌や口紅、パステルカラーなどで色彩の美しさを発揮することができるようです。

微妙な色彩で満足のいく結果が得られない場合、PANTONE®をお試しください。

## ● PANTONE® で美しく表現される色彩の例



弊社のノベルティブランドDearCOLORの商品であった  
「YEAR VIEW(イヤービュー)」カレンダーが  
HANABUSA(はなぶさ)ブランドとして展開することになりました。

2015  
item

エグゼクティブのみなさまに愛用されるケースが多い蛇腹式のカレンダーは、年間の計画や流れを一目で確認することができる構造から、責任ある仕事をされるみなさまには必然的に求められる性質を有しています。

この度、ノベルティブランドDearCOLORの商品であった「YEAR VIEW ELITE」をHANABUSA（はなぶさ）ブランドとして商品化することになりました。HANABUSA（はなぶさ）らしいこだわった素材とより洗練されたデザイン、実用性を兼ね備えた商品として完成させたいと思います。



写真はノベルティブランド DearCOLOR の商品「YEAR VIEW ELITE」



## 「読めない印刷物」？ 文字に色指定をする際の注意点

カラーの印刷物では様々な色指定を行います。今日のグラフィックワークのデジタル化によって、デザインとしてあらゆる色彩をソフトの機能で楽しく簡単に指定できるようになりましたが、「文字」に対する色指定をする場合には注意すべき「大きな落とし穴」があります。下記の事例を参考に、印刷物がどう仕上がるかを確認し、正しい色指定をすることでリスクを回避し、読みやすい紙面づくりをしましょう。

### ▶ チェック事項 … 指定した色の本当の色を確認しよう。

指定した色はモニター画面やプリンターの個体差で実際に指定した色より濃く表現されることがあります。ところが印刷を依頼して出来上がってくると「薄すぎて読めない」などのトラブルが発生することがあります。文字への色指定がある場合は必ずインキメーカーのカラーチップなどで確かめるか、依頼するプリントショップや印刷会社の営業担当者や技術者に「この色指定で印刷しても問題が無いか」の確認をしましょう。

### ▶ こんな色は要注意！色彩領域と文字の読みやすさ比較

#### 濃くしっかりした色彩領域の色指定

…… 読みやすく文書としても問題が無い

- この印刷物の文章は読みやすく印刷されましたか？ ■

#### パステル調など淡い色彩領域の色指定

…… 読みにくく印刷物として成立しない

- この印刷物の文章は読みやすく印刷されましたか？ ■

**P**oint \*文字、特に小さな文字や長文への色指定は要注意！ 読みやすい印刷物を作るために必ず印刷結果の事前確認をしましょう。

## シンボル(ロゴ)マークの美しさ その根拠 三和スチール株式会社様の事例

企業や商品・ブランドなど、あらゆるシンボル（ロゴ）マークは、創業者の強い思い、壮大な未来への夢、商品やサービスの性質を的確に表現し、それらをベースにコンセプトが組み立てられます。そのコンセプトに基づいてお客様に強く印象付ける色彩や形状、更にはサイト、お名刺、会社案内など、あらゆるパターンやシチュエーションに合った他の情報との組み合わせやレイアウトに際してのルールなどが緻密に決められ、文書化されることで「コーポレートアイデンティティ」が確立されます。シンボル（ロゴ）マークは、消費者やユーザーに商品や経営方針に合致したイメージで認識していただくことを担う大変重要なものです。

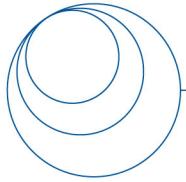
そのシンボルマークの視覚的な美しさには根拠がありますが、感覚的な印象と同時に、精密に設計がなされていることで確固たる美しさを確立することができます。一見アーティストが感性で描いたような図形も、実は精密なグリッドをベースに設計され、配置されています。大切なシンボルマークの印象が気になるようでしたら、一度グリッドを元にチェックしてみてはいかがでしょうか。

### ▶ 視覚的バランスのチェック

視覚的な美しさやバランスは寸法、角度、分割比率の全てがパーフェクトであってもそれで保証されるものではありません。シンボルマークの形状によっては寸法上のバランスよりも視覚的なバランス、視覚的なセンターを優先するケースが多くあります。



わかりやすい寸法・角度・分割比率のグリッド



# デザインは人を幸せにする 心が豊かになるアイデア

愛情や感謝の気持ちを伝える人、受け取る人、共に心地よく幸せな気持ちになります。

心を持つもの、血の通うもの、良い波動のもの。これらはものづくりをしている人ならいつの日か必ず自ら求めるようになる思いなのではないでしょうか。精密な商品は追求された技術のたまものであり、感激するほど真心のこもったサービスはそれを提供する人たちのお客様への思いの具現化であるといえます。

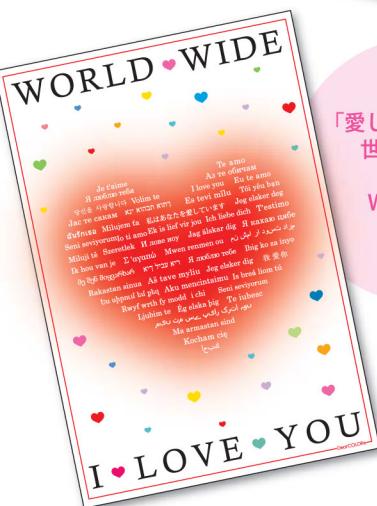
私たちが生み出す紙製品のように、商品と言語、文字が密接に関係する場合は、その言葉の持つ「気」の波動を無意識であっても感じ取っているようです。人間の感情は世界中のあらゆる言語に置き換えられ、その言語は文字になりますが、不思議なことにどこの国の言葉であっても、感謝や愛情を伝える「ありがとうございます」「愛しています」という言葉には言語を越えた心地よさと魂の温もりを感じます。人間が心の存在である所以でしょうか。

私たちのものづくりからそのような「気」の波動を感じていただけましたら幸いです。

## 心地好いポストカード・コースター

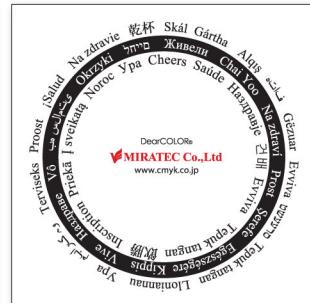
感謝の気持ちを  
世界中の言葉で表す

World Wide  
Thank you



「愛しています」を  
世界の言葉で

World Wide  
I love you



コースターなどにも  
応用できます

## MIRATEC Monthly Report 5

印刷物は「情報の乗り物」と言われます。情報は言葉となり、言葉が文字となって紙の上に表現され、読者へと運ばれているのです。今日、情報は紙から電波、インターネット、デジタル媒体など、多様な「乗り物」で運ばれます。しかし、情報の氾濫するこの時代には、その品質をジャッジすること、役立つ情報を選択する事が困難なのではないかと思います。しかし、人間の心から発した情報には「気」や「波動」があり、人間が無意識に感じる「心地よさ」は確かに存在します。良い「気」や「波動」を有する情報には分野を問わず、明るさ、爽やかさ、そして心地よさを感じているはずです。そしてその情報はやはり良質なのではないでしょうか。毎月発行する本誌も、常に良い「気」と「波動」をお届けできるものであります。



バックナンバーは  
こちらから →



### お問合せ・